



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(DC会館)
電話 { (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043(222)7207 番
FAX 043(224)7197 番

2001.4.5 №5292

第二の分割・民営化攻撃粉碎!

4/1~2 第二波ストライキ貫徹

第二波スト総決起集会に組合員 四二〇名結集! あふれる決意!

四・二第二波ストライキ総決起集会は、三月二十八第一波ストとして四・一ストライキの熱気を持ち込んで、千葉県労働者福祉センターに、全支部から結集した組合員四二〇名を集めて開催された。

集会は、君塚副委員長の開会あいさつで始まり、続いて本部・中野委員長が登壇、今次一、二波闘争の意義を全体に表明したあと(要旨次号詳報)、来賓として、闘う国労闘争団から、

集会は、「シニア」外注化阻止、新たな分割・民営化粉碎一〇四七名の解雇撤回、貨物ベア・ゼロ回答粉碎を掲げて、とりわけ「ニューフロンティア二一」攻撃との闘いの出発点として

「ストに立ちあがった動労千葉に敬意を表する。四党合意は機関決定されたが、失われた一四年間の時間を取り戻す闘いに、同じ鉄路を闘う仲間として共に頑張ろう」が力強く訴え、続いて動労千葉弁護団・阿部弁護士からシニア制度地労委が勝利できる闘いであること、都政を革新する会・結柴杉並区議、そして水野勝浦市議が、「この闘いは、新たな労働運動の出発点だ。組合員と一緒に闘い抜いていきたい」と全体に表明した。

二〇〇一年春闘ストライキ! 労働者の団結・権利を守る闘い
基調提起に起った、田中書記長は、①、二〇〇一年春闘の状況、②、JRの労働運動をめぐる状況について、どちらの側に未来があるのか、社会的・普遍的なものであり、労働者が誇りをもっていく闘いであること、③、外注化が、鉄道の根幹を売り渡していく攻撃だ。これから支社、現場の段階に入っていく。今次ストを闘ってきた成果のう



えに、闘っていききたい。④、シニア制度は、法律的な責任を放棄し、六〇歳以上の雇用延長を拒否したうえに、JRは一切責任をおわない差別・選別制度だ。年金改悪をはじめとした社会保障制度を解体していく攻撃に対する闘いだ。⑤、一〇四七名闘争をめぐる状況に対する、われわれの意思を鮮明にする闘いだ。⑥、労働者の団結、権利を守る闘いであり、これを忘れたら労働者にはない。労働者らしく闘おう。労働者らしくストをして怒りを結集しよう。闘いを継続して決起していこうと基調提起を行った。

- 続いて、動労千葉家族会をはじめとしたメッセージが代読され、新組合員として銚子支部・名雪君のあいさつに続き、各分科会・協議会、動労千葉争議団・高石から解雇撤回に向けた決意が表明され、各支部の代表から、今次ストライキを貫徹している決意表明が行われた。
- 集会後、全体で千葉支社までの怒りのデモンストレーションを行い第二波闘争貫徹と、新たな分割・民営化攻撃粉碎へ向けた動労千葉の力を示し抜いた。
- カンパ・メッセージを
いただいた団体
- 東北大学 日就寮
 - 関東バス労組 五日市街道支部
 - 三多摩労組交流センター
 - 法政大学法文学二教自
 - 札幌住器支部労組
 - 東大分院職員労組